

令和6年度 愛教研の表記について

愛教研「教育情報」編集委員会

- 編集委員会等でよく使われると予想される言葉（語句）について、下記のとおり表記を統一する。
- 確認事項
 - 1 原則として常用漢字を用いること。
 - 2 漢字や送り仮名の使用については、例解辞典を参照する。
 - 3 原則として縦書きの数字は漢数字を用いること。

見出し	書き表し方	すばらしい	すばらしい
あいさつ	挨拶	すべて	全て
あきらめる	諦める	せいとん	整頓
あたり	開催に当たり、この辺り	ぜひ	是非お越しく下さい
ありかた	在り方	たいへん	大変すばらしい
いただく	協力していただく	たち（接尾語）	私たち、友達（のみ漢字）
	返事を頂く	たび	このたび、～するたびに
いちづける	位置付ける		度々、度重なる
いっぱい	精一杯、力一杯、水一杯	たぶん	多分
いろいろな	いろいろな	だれ	誰
いわば	言わば	ちかづく	近づく
うえ	～する上で（に）、～の上、	つ（づ）かい	気遣い、心遣い、言葉遣い
うけもち	受持ち、受け持つ	つ（づ）くり ※	体力づくり、組織づくり
うちあわせ	打合せ、打ち合わせる	つづる	文をつづる、書類をつづる
うれしい	うれしい	つながる	橋がつながる、成功につながる
おうせい	好奇心旺盛	できる	～することができる（可能）
おそれ	～のおそれがある（懸念）		作品が出来る（実現・成り立ち）
	～を恐れる（恐怖）	～をとおして	～を通して
おもしろい	面白い	とおり	次のとおり、文字どおり
および	及び		大街道通り、三通りの方法
かかわる	関わる	ともに	提出するとともに（動詞に付く）
かかわらず	～に（も）かかわらず実施する		友達と共に参加（名詞に付く）
がたい	理解し難い	とりくみ	取組、取り組み方、取り組む
きづく	気付く	なか	～する中で、～の中から
きわめて	解決は極めて難しい	なかよく ※	仲良く
ください	～してください、御理解ください	はいふ	配付（特定の一人一人に配る）
	時間を下さい		配布（不特定の大勢に配る）
くみあわせ	組合せ、組み合わせる	はぐくむ	育む
ご〇〇（〇は漢字）	御指導、御支援、御覧ください	はなしあい	話し合い、話し合い活動、話し合う
こころがける	心掛ける	ひとりひとり	一人一人（「ふたり」は二人）
こたえる	要望に応える	ふだん	ふだんの様子で、不断の努力
	質問に答える	まじめ	真面目
こども ※	子ども、子供（文科省は漢字）	まわり	身の回り、胴回り
さまざま	様々な		周りの人、池の周り
さらに	更に（副詞）	もつ	持つ
	さらに、（接続詞）	もと	指導の下、教育方針の下
しかた	仕方		資料を基に説明、国の基を築く
しかる	叱る		元に戻る、火の元
しくみ	仕組み（枠組み、取組）		本を正せば
じゅうぶん	十分	よい ※	良い方法、質が良い、仲が良い
ずいぶん	随分		善い行い
すでに	既に	わかる	分かる

（注）※印 … 漢字の表記も可とする。執筆者の意向（考えがあってその表記とする場合）を重視する。

【縦書きにおける漢数字の表記】

※ 記号を使う場合は、一つの原稿内で統一しておく。	百二十五万km	百二十五万キロメートル	八十五%	八十五パーセント	単位の表記	二〇一七年	2017年	西暦の表記	百八十六名	一八六名	十二月二十一日	十二月二日	七十名	七〇名	平成二十九年	平成二九年	三百五十二個	三五二個	原則とする漢数字表記	推奨する漢数字の表記	望ましくない表記
	百二十五万km	一二五万キロメートル	八五%	八五パーセント		二〇一七年	2017年		百八十六名	一八六名	十二月二十一日	十二月二日	七十名	七〇名	平成二十九年	平成二九年	三百五十二個	三五二個	原則とする漢数字表記	推奨する漢数字の表記	望ましくない表記

- 固有名詞の表記については、執筆者の思いが強い場合や名詞に準ずる数字等、柔軟に考える。



【固有名詞表記例】

愛媛の教育第二百十号	国道一―号	県道三〇二号	四二・一九五キロメートル
------------	-------	--------	--------------

【アルファベット表記例】

解を助ける説明をしていただき、授業をスムーズに進行することができた。メインの活動では、「How many」を使ってペアでやり取りをし、プレゼントする相手を考えながらフルーツ盛り

【縦書きにおけるアルファベットの表記】

- ① 日常的に外来語として使用しているものは、原則として縦に並べる。

C D	M V P	A L T	J I C A	I C T	N G O	愛 媛 F C	J ・ P O P	G I G A
--------	-------------	-------------	------------------	-------------	-------------	------------------	-----------------------	------------------

- ② 文や単語などは、横にする。



- ※ 本表記については、「あくまでも原則」という考えで対応する。一つの文章内において、前後の記述等により判断し、執筆者の意向（考えがあってその表記とする場合）を重視する。
- ※ 今年度も、その他、統一すればよい言葉については、愛教研「教育情報」編集委員会を中心にその都度検討を重ねていく。